

期 日：8月4～6日 晴れ

コース：川入9：55→川入キャンプ場10：23→三国小屋泊16：10～4：05→飯豊本峰9：48→御西岳11：30→本山小屋14：10泊～5：05→地藏岳10：16→大日杉小屋12：42

参加者：M・T

報 告：現在廃止されている山都第三小学校川入分校が登山の出発地点となり登山シーズンのみバスもここまで入る。

飯 豊 山  
M・T



飯豊山アクセスバス停留所		
運行 期間 H27年7月17日～H27年8月31日		
時刻表		
山都駅発	いいでの伊(緑田地)	川入着
8:50	9:15	9:35
13:40	14:05	14:25
川入発	いいでの伊(緑田地)	山都駅着
10:30	10:50	11:15
14:45	15:05	15:30

金曜日～月曜日のみ運行

昭文社の地図では川入キャンプ場まで車が入り駐車場も有る事になっているが現在車は進入禁止である。川入から30分廃止となった飯豊鉾泉等を見ながら川入集落の民宿の中を抜けてキャンプ場に着く。キャンプ場は現在も運営されているのだろうか？

誰も居ないキャンプ場は静かで管理棟内に登山者カードが有り記帳してから歩き出す。





御沢小屋跡にはトタンが積んであり大滝遊歩道との分岐だった。三国小屋まで7.5キロ。深く洗掘された登山道。



下十五里、中十五里、上十五里と解かり易い標柱。

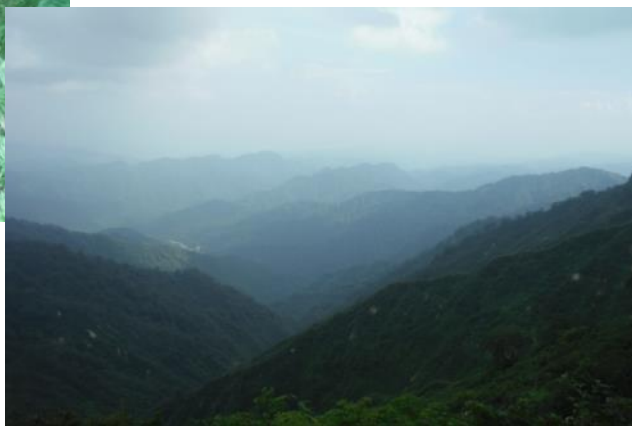


地藏水場道から10分位歩いたところで尾根の先に三国小屋が見える。ここから小屋まで1.1キロ。写真左3分の1位の所の小さな四角が三国小屋だが小屋が見えるのはここだけだった。この後、小屋到着まで全く見えなくなる。



小屋近くの水場は危険と事前調査で聞いていたのでここで水を4ℓにする。明日の水場までの必要分。

剣ヶ峰直前の遠望。幾重にも連なる山並みが幽玄だが、悲しいかなこの山並みやら、わからない。地図も出さず。



剣ヶ峰と有るがここから先小屋までが剣ヶ峰の岩場だろう。恐ろしいナイフリッジの200mだ。小屋も見えず不安に襲われる。岩場を目にして全体の写真を撮り忘れる。残念。

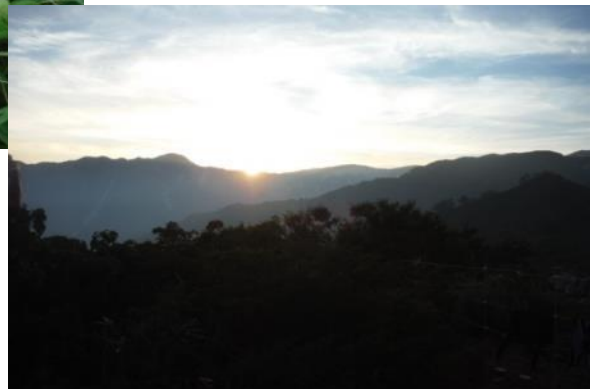


役場の担当者が危険なのでやめてくださいと言うのがわかる水場。重たくても担いできて良かった。剣ヶ峰を登りきるといきなり小屋が現れる。三国岳山頂でもある。

歩いて来た尾根を眺め小屋番さんと暫し歓談と言うよりは一人酒のお相手をしていただく。肩にはアキアカネ。ビール500ミリ1000円。おつまみあげようかと優しいお言葉。いいえ持参していますとお断りしました。物が大事な山暮らしなのに優しい。おせんべいお裾わけ。こんどの山行でも一期一会の出会いを素晴らしいものと感じる出来事が起こる。



山の端に沈む太陽。静かな一時。





小屋脇に咲くセンジュガンピ。徐々に茜色に染まっていく空。至福の一時。



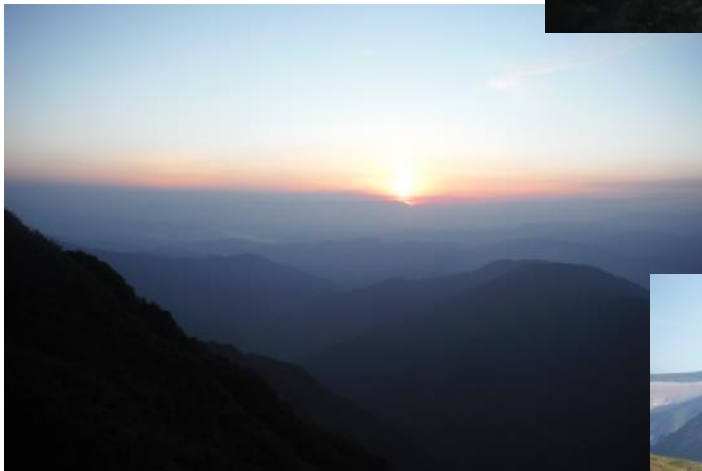
8月5日（2日目）

前夜パッキングをあらかじめ済ませ  
起床後寝具のみをしまいコーヒー  
だけで4：05分出発。  
しばらく歩いて朝食とする事にした。  
僅か20分で遠くなる三国小屋。

4：47分太陽が昇りだす。新しい  
一日の幕開け。



種蒔山より歩いた尾根を振り  
返る。



切合小屋迄もう少し、水を計算しながら飲むが十分にある。切合小屋の水場は小屋ま



で引いて有るので助かる。



切合小屋迄残り  
1キロ。2008  
年7月20～2  
3日 Hさん・O  
さんと初めて飯  
豊を訪れ泊まっ  
た思い出の小屋。  
ヒメサユリに満  
足した山旅を思  
い出す。



今回はヒメサユリには遅  
くマツムシソウの花盛り  
と三国小屋の方に教えら  
れていた。

切合小屋の方に声掛けしてお水を戴く。プラティ  
パスに2ℓ。別に2ℓ。今日一日分の行動分。水  
場には下りない予定。力が無いと言った方がいい。



真ん中一番高い山が大日岳。H  
さんから登った方がいいと言  
われた山。今日はあの山麓迄は  
行く。その後はその時の状況で  
決める事とする。



雪渓に残る動物の足跡。  
その脇に咲いているサ  
クラソウ



7時10分草履塚通過。  
左の高い山が大日岳。まだ遠い。



ホノバウスユキソウ



姥権現から見る飯豊本峰。



本山小屋が見えてきた。  
9：09分小屋到着。  
小屋の方に断って小屋の  
日陰で食事を作る。お茶  
漬けに梅干・ちりめん山  
椒と流動食に近い食事。



小屋の方が困ってくれた熊の  
排出物。マツボックリの様だっ  
た。





迎ってきた長い尾根。



山頂にて記念写真。後ろはこれから迎える御西岳・大日岳への稜線。お花畑であるが長い。



玄山道分岐。地図に記名のみで登山道の赤線が無い。草むらの中に僅かな踏み跡が有り少し歩いてみるが登り返しが嫌で、すぐに引き返す。帰宅後調べて分かったが弘法清水の水場への道だった。現在、廃道になっている赤谷登拝路側に有るらしい。



お花畑の中をのんびり歩く。時々立ち止まってヒメサユリを未練がましく探すが見つからない。見つかるピンクはヨツバシオガマ。

御西避難小屋着。一人だと撮りましようかと声をかけてくださる方がいてご好意に甘える。

30分休んでも大日岳に行く時間は有る。頭では行きたくないと考えている。昼食をしながら悶々とする。今日は7時間30分行動している。

帰ろうかな！登ろうかな！今日はもう無理帰ろう！と決めて本山小屋迄戻る事にする。7時間行動し水も1、2位しか残っていない。ここの水場はかなり下るので本山小屋まで持ちこたえるようにし



て戻る事を決意。大日岳は今度にすればいい。手にストックを持っていない。帰る途中で気が付いて戻る事になる。帰りも遠い。遥か彼方の雲の中。





アイデリンドウ

ミヤマリンドウ



戻る道も遠いが気持ちがいい。



本山小屋に14:10分到着。水も無くなったので、今日はここで泊まる事にする。この後、小屋番さんと一緒に水場迄水汲みに行く。明日は切合小屋で水があるので2、5ℓで足りる。本山小屋の管理人さんはとても仕事を

楽しんでいらして宿泊者皆で早い時間からの親睦会となった。九州、四国、



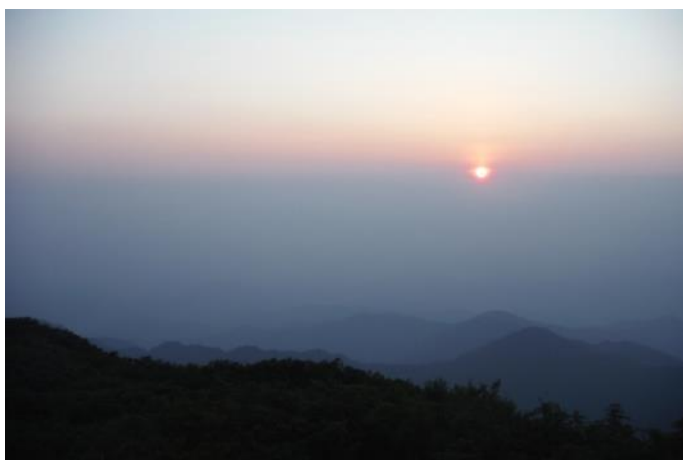
山形、長野、埼玉、横浜からの15人位で楽しい時間を過ごした。大騒ぎで頂く焼き豚・キャベツ・きゅうり・玉ねぎは全て管理人さんの大事な食糧。こんな大騒ぎの避難小屋の夕方は経験が無かった。差し障

りの有りそうな写真掲載は遠慮しておくが、ワタナベさん、単独行者が寂しくないようにとのお気遣いありがとうございました。皆さん本山小屋へどうぞお越下さい。心優しい管理人さんがお待ちしています。もちろん三国小屋もです。

8月6日（3日目）



この日は下山日だが特別早立ちの予定は無いので、同宿の方達が動き出してから、お湯を沸かしコーヒーと軽いドーナツを少し食べて4:50分出発する。



6日の日の出。今日も暑くなりそう。



さよなら飯豊。少しだけ近道になるので切合小屋の先のこの雪渓を渡って夏道に出る。2008年にも渡ったので懐かしかった。



地藏岳・御坪を経て



最終地点大日杉小屋へ。小屋の右手に有る五段山への最初の関門の吊り橋を見に行く予定にしていたが行く事はしなかった。たぶん怖くて渡れないだろうから、次回思い切って見に行ってみよう。